

水明会通信 スワン

創刊号 平成 28 年 8 月発行



広報誌スワン創刊にあたって

佐潟荘広報誌スワンの創刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

佐潟荘は昭和40年4月の開院以来51年間、患者様、ご家族の皆様、地域の方々あるいは職員並びに関係各位に支えられて、今日を迎えることができました。組織が半世紀以上を超えて存在することは、並大抵のことではなく、こうした皆様方のお力添えの賜物であり、心より御礼申し上げます。

これまで、安全で質の高い医療と福祉の提供に努め、様々な取り組みをさせていただいてまいりましたが、ご存じでない方が多く、当院の活動をご理解頂く努力に欠けていたことを反省し、この度、そのツールとして広報誌スワンを発刊させていただくことにいたしました。佐潟荘について多くのことを皆様にご覧いただき、スワンを通じて地域の皆様や、関係機関との連携をこれまで以上に強化できれば幸いです。

今後とも佐潟荘の医療・福祉活動に関しまして、皆様のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療法人水明会 理事長 上村 徹



ご挨拶とお願い

医療法人水明会佐潟荘 院長 北村 秀明



患者さま、ならびにご家族の皆様、こんにちは。水明会佐潟荘の院長の北村秀明（きたむらひであき）です。前院長の柝倉博先生の後を継ぎまして、平成27年4月より院長職を仰せつかっております。すでにご存じの方もおられるかと思いますが、この場をかりまして、あらためてご挨拶させていただく次第です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

水明会佐潟荘は、これまでと同様に、他の先進国と同レベルの質の高い、そして安全な精神医療を提供できるよう努力を続けてまいります。前院長のご指導のもと、デイ・ケア、作業療法、地域活動支援センター、そして訪問看護ステーションなど、患者さまが入院中、あるいは病院を退院してからも、生活の質を維持して、家庭や地域で生活し続けることをサポートするシステムやハードは、格段に整備が進んだと思われます。しかしながら、もっとも重要なのは、それを支える“人”であって、常に最新・最良の知識を得て、こころ病む人々の医療に活用できねばなりません。この点に関しては、まだまだ不十分であって、全職員がさらに自己研鑽に努めるよう、厳しく指導していくつもりです。

おわりに、皆様へお知らせとお願いがございます。一つは、当院の新規入院につきましては、急性期治療病棟における入院期間が3か月を超えない集中的入院治療が原則となっていることです。日本経済の衰退にもかかわらず、高齢化に伴う国民の医療費は年々増加の一途をたどり、精神医療を含む医療全般が非常に厳しい時代を迎えています。当院の設立者である上村忠雄先生がかつて描いた「佐潟の豊饒な自然に囲まれて、病んだ心をゆっくり癒す」といった理想像を追及することが難しい時代となってしまいました。もう一つは、重度かつ慢性の状態であるがゆえに長期入院をせざるを得ない患者のご家族には、大変ご負担をおかけしますが、患者さまが心待ちにしている外出・外泊や、最近とみに増えている体の病気のための病状説明のための来院、他科他院への受診の同伴などに対するご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

【訪問看護ステーション つばさ】訪問看護ステーションを開設しました。

佐潟訪問看護ステーション つばさ 主任 中村 明美

利用者の皆様、ご家族の皆様におかれましては、以前より佐潟荘訪問看護を利用いただきありがとうございます。



この度、平成28年7月1日より『佐潟訪問看護ステーション つばさ』として訪問看護事業がスタートしました。それに伴い、皆様にはたくさんの協力をいただき感謝しております。精神科看護で蓄積してきた知識、経験を活かし、高い訪問看護技術をもったステーションとして役割を果たしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

お気軽にお問い合わせください！

【地域活動支援センターラグーン】 みんな役割をもって楽しく活動！！

地域活動支援センターラグーン 主任 飯塚 有紀

平成 26 年 6 月に「病気や障がいがあってもなくても、役割をもって楽しく働き、遊んで、笑顔で集える場所をつくろう！」と開所し、皆様のおかげで今年度 2 周年を迎えることができました。ラグーンでは、みんなで意見を出しながら、喫茶や創作活動等をしています。

喫茶では、前日から仕込む手作りのカレーやパスタ、季節の丼、手作りジュースなど、創作でも本格的な絵やユニークなもの、実用的な物を日々作っています。ぜひ一度、いらしてみてくださいね。

本格的なカレーが好評です。



暑い時期にぴったり！サラダビビンバ丼。

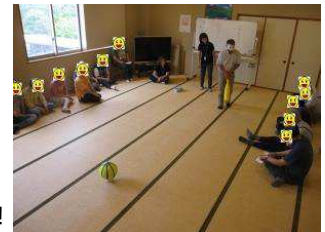
【デイ・ケアセンターはばたき】 スイカ割り。

デイ・ケアセンターはばたき 精神保健福祉士 古谷 拓真

皆さんは夏の食べ物といえば何を思い浮かべますか？ スイカも代表的な夏の食べ物の 1 つですよ🍉そして、スイカと言えばやっぱりスイカ割りですよ(^▽^)デイ・ケアでもスイカ割りを行いました🔥本物のスイカは割れないので、スイカに見立てたボールで行いました🔥周りの人が大きな声で指示を出してくれ、当たった時には皆さんから大きな歓声も上がりました👏もちろん本物のスイカもみんなでいただきました＼(^o^)/

盛り上がりのある夏の行事のひとつでした😊

盛り上がりました！



【作業療法室（リハビリ棟）】 夏の作品。

リハビリ棟 作業療法士 中野 優

夏の風物詩をみんなで協力して折り紙や塗り絵で作りました。色とりどりの色彩が目にも鮮やかに出来上がりました☆みんなで細かい貼り絵にもチャレンジをしました。おいしそうな完熟スイカが出来上がりました☆

そして完成をみんなで喜んで、「はい！ピース☆」



デイ・ケアセンター「はばたき」とリハビリ棟の様子は、佐潟荘ホームページ内のブログからも見ることが出来ます。